

長野工業高等専門学校		開講年度	平成28年度 (2016年度)		授業科目	論理トレーニング
科目基礎情報						
科目番号	0013		科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	一般科		対象学年	4		
開設期	後期		週時間数	2		
教科書/教材	教科書：指定しない。評論文や新聞記事など必要な資料を配布する。参考文献を適宜紹介する。					
担当教員	鬼頭 葉子					
到達目標						
資料を読み、その内容を的確に要約できること。資料を読解し、その内容を踏まえつつ自身の考えを論理的に文章表現できること。これをもって学習・教育目標（A-1）の達成を評価する。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1						
評価項目2						
評価項目3						
学科の到達目標項目との関係						
産業システム工学プログラム						
教育方法等						
概要	自ら問いを立て、根拠を検討するクリティカル・シンキングの基本を学び、論理的に考える仕方を身につける。自身の考えを過不足なく表現する文章の書き方を学ぶ。進学・就職の際の小論文対策を行う。					
授業の進め方・方法	クリティカル・シンキングおよびテキスト解釈についての解説を行い、小論文の演習問題を出す。演習問題の論評をクラス内で行う。					
注意点	<成績評価> 問題演習と論評（40%）、学期末レポートとしての小論文課題（60%）の合計100点満点で(A-1)を評価し、合計の6割以上を獲得した者を合格とする。 <オフィスアワー> 放課後 16:00 ～ 17:00、一般科棟3F西 鬼頭葉子教員室。 <先修科目・後修科目> 先修科目は現代社会。					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	クリティカル・シンキングの方法（1）		クリティカル・シンキングの基礎を理解できる。	
		2週	クリティカル・シンキングの方法（2）		クリティカル・シンキングの基礎を理解できる。	
		3週	論理トレーニング問題の実践（1）		クリティカル・シンキングの原則を応用し、演習問題を解くことができる。	
		4週	論理トレーニング問題の実践（2）		クリティカル・シンキングの原則を応用し、演習問題を解くことができる。	
		5週	論理トレーニング問題の実践（3）		クリティカル・シンキングの原則を応用し、演習問題を解くことができる。	
		6週	論理トレーニング問題の実践（4）		クリティカル・シンキングの原則を応用し、演習問題を解くことができる。	
		7週	評論文のテキスト解釈（1）		テキストを基に小論文を書き、互いに論評することができる。	
		8週	評論文のテキスト解釈（2）		テキストを基に小論文を書き、互いに論評することができる。	
	4thQ	9週	評論文のテキスト解釈（3）		テキストを基に小論文を書き、互いに論評することができる。	
		10週	評論文のテキスト解釈（4）		テキストを基に小論文を書き、互いに論評することができる。	
		11週	新聞記事のテキスト解釈（1）		テキストを基に小論文を書き、互いに論評することができる。	
		12週	新聞記事のテキスト解釈（2）		テキストを基に小論文を書き、互いに論評することができる。	
		13週	新聞記事のテキスト解釈（3）		テキストを基に小論文を書き、互いに論評することができる。	
		14週	新聞記事のテキスト解釈（4）		テキストを基に小論文を書き、互いに論評することができる。	
		15週	新聞記事のテキスト解釈（5）		テキストを基に小論文を書き、互いに論評することができる。	
		16週				
評価割合						
	試験	小テスト	平常点	レポート	その他	合計
総合評価割合	0	0	40	60	0	100
配点	0	0	40	60	0	100